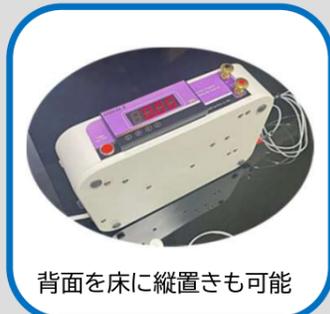


1、電源をON /オートゼロ機能(表示値0)

(本体右側面に中継チューブを接続した状態)

機器左側面
<出力信号>
1kPa
↓
0.1V
(100mV)



背面を床に縦置きも可能

POWERボタンを押す…表示値**0.00**を確認後、次へ
(電源ONで値が0/…エアパックを接続しない状態で0にならない時は、電源を再投入/オートゼロ)

① A0905-SA-II 測定手順

生体(軟らかい面)、ダミー(硬い面)対応 V15

株式会社エイエムアイ・テクノ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-5-3-1313

tel 03-5339-7417 E-mail ami-tec@m2.pbc.ne.jp

<http://www.ami-tec.co.jp> <本紙 取得可能>

<取扱注意>

- *エアパックを滅菌する場合はガス滅菌
- *チューブ内に液体を入れないように注意!

2、カバーテープの圧迫の影響受けにくい取り付け方

圧迫が強い場合は、この操作は不要です



エアパックをプレス試験機でプレスした状態にする

中継チューブとエアパックを接続、しっかり奥まで挿し込む
(接続完了時は、小さい値を表示)



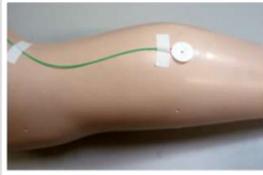
<生体は赤、硬いダミーなどは黒のcock>
cockを引き、値が0になり3秒以上経過後に離す



プレス試験機よりエアパック外す

多点時は各エアパックの取付時に行う

3、部位にエアパック(センサ)取付と、カバーテープの貼り方(用具脱着時の保護)



部位にエアパックのチューブ付け根をテープで留める
チューブ方向はストッキングの着用向きを考え決める
*周囲を消毒液で油分などを拭き取る…はがれにくくなる



カバーテープの切目から台紙をはがす



両手で持ち、中心を合わせ足の軸方向から貼り着け、圧迫を極力掛けないように貼る(測定する値より小さい値)



周囲をしっかり押さえる



強い圧迫や摩擦が考えられる場合は、配線の全面をテープで止める



エアパックを切り離す

*カバーテープをはがれるとエアパックの破損に繋がる

4、ストッキング・包帯を装着



着用時のねじれや引き上げ方の違いが、測定値に左右します。測定ポイントにマークや線を入れるなど工夫し再現性を高めると共に、ある程度、(許容)誤差範囲を決めて行うことが必要です。

この時点で、エアパック内のエア

5、エアパックと中継チューブを接続…接続前、ゼロにならない時、電源再投入

エアパックのエアが完全に抜けた状態で接続。無負荷や低圧では掌などで押出す



繰返し測定に於いて、前の値より高い時は、エアパックにエアが残ったままでの接続も考えられる

接続は奥までしっかり挿し込む、(若干の値が出ます)

6、エアを入れる→cockを引き、表示0後に、3秒以上経過後に離す

cock引くのは1回のみ



生体は赤、硬いダミーは黒のcock
cockの軸が赤が見えるまで引き、値が0になって、3秒以上経過後cockを離す
<cockを引くのは1回のみ>
やり直す場合は、エアパックを一旦切り離し、エアパックの面を手で押さえエアを完全に抜いてから行う5、接続からやり直します
*エアが完全に抜けきってないと高い値になります

7、値が安定したところで読み取る…終了→エアパック切り離し



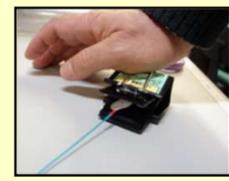
姿勢変化・機能・用具の材料特性などによって、数値が安定する時間が異なります

*この状態で、長時間の連続測定はできませんが、一旦切り離し、再接続し測定することで値で変化を観ることができます

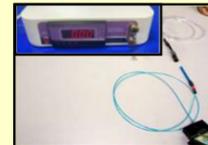
<プレス試験機によるチェック>

確認: 最大測定値・エア漏れ・エア量のバラツキ

1、エアパックの袋部全面をプレス試験機で挟む



2、エアパックと中継チューブを接続



3、エアを入れる…cockを引き、値0後、3秒以上経過後に放す

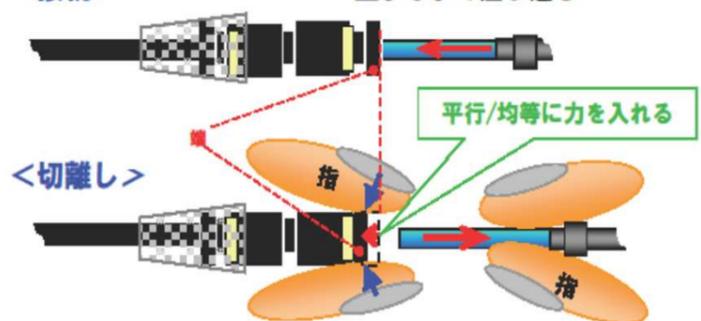


- ・値は最大測定値。実際の圧力がこれ以上であっても値は上がりません
- ・値が急激に下がる場合は、エア漏れ。ジョイントの確認・エアパックの破損→交換
- *プレス試験機に長時間挟んだ状態では、スポンジ特性により徐々に値が下がります

エアパック(チューブ)の接続・切離し・処置

<接続>

止まるまで差し込む



<切離し>

指先で強くつまみ、引き抜く…円盤状の端がスライドしロックが外れて抜ける

<ジョイント部の磨耗や傷の処置>

カッター

先端5mm位をカッターで垂直に切り落とす

多点測定: 多点測定は、エアパック切り離し後、他の部位のエアパック…5、6、7の操作を繰り返す

時間変化: 時間経過の変化は、一旦エアパックを切り離し、

5、6、7の操作を行う *5、では、エアが完全に抜けた状態で接続。